

神戸市域におけるくも膜下出血の転帰と脳血管攣縮に関する多施設共同登録研究  
Kobe Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage and Delayed Ischemic Neurological  
Deficit Registry (KASHER)

① 当該研究の意義、目的、情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合にはその方法を含む。)

神戸広域脳卒中地域連携協議会を活用し、神戸市域におけるくも膜下出血患者の発生と脳卒中専門医療機関への収容、治療選択、経過、転帰、特に脳血管攣縮の発生頻度、その治療、予後に及ぼす影響を調べ、今後の治療の指針、指標とする。最終目標は、神戸市域のくも膜下出血の転帰の改善である。

② 利用し、提供する情報の項目

2017年10月1日から2019年9月30日に初診した

- 1) 脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血
- 2) 最終破裂14日以内に初診したもの

③ 利用する者の範囲

神戸広域脳卒中地域連携協議会に参加する神戸市内の医療機関

④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

**研究代表者**

神戸市立医療センター中央市民病院

臨床研究推進センター脳血管治療研究部 坂井信幸

所在地:〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-1-1

以下の項目⑤および⑥について、ご質問がある場合は、以下の当施設の研究責任者までご連絡ください。

甲南医療センター 脳神経外科 本岡 康彦

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法